

第7回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（西部）

日 時	平成26年2月1日（土）午後5時30分～午後7時30分
場 所	よませふれあいセンター
参加人数	住民参加者：58人 議員16人 事務局1人
地元協力団体	西部協議会・西部公民館
議員役割分担表	<p>総括責任者 小渕 茂昭</p> <p>司会進行 小渕 茂昭</p> <p>常任委員会報告者</p> <p>総務常任委員会 田中 篤</p> <p>社会文教常任委員会 高山 祐一</p> <p>観光経済常任委員会 湯本 市蔵</p> <p>広報常任委員会 布施谷裕泉</p> <p>議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>記 録 者 小林 克彦</p> <p>出席議員 小根澤 弘・望月 貞明・西 宗亮・田中 篤・布施谷裕泉・高山 祐一 高田 佳久・山本 良一・黒岩 浩一・徳竹 栄子・湯本 市蔵・小渕 茂昭 山本一二三・小林 克彦・渡辺 正男・児玉 信治</p>
次第（担当者）	<p>1. 開 会 司会者 小渕 茂昭</p> <p>2. あいさつ</p> <p>(1)主催者 議会議長 児玉 信治</p> <p>(2)共催者代表 西部協議会長 池田 輝利</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1)議会常任委員会等報告</p> <p>①総務常任委員会 田中 篤</p> <p>②社会文教常任委員会 高山 祐一</p> <p>③観光経済常任委員会 湯本 市蔵</p> <p>④広報常任委員会 布施谷裕泉</p> <p>⑤議会活性化研究会 西 宗亮</p> <p>(2)質 疑</p> <p>4. 懇談事項</p> <p>テーマ「公共施設の整備」</p> <p>5. 閉 会 司会者</p>
報告事項の質疑	※ 報告事項の質疑とテーマ等の懇談について、一括意見を求めた。
懇談会意見	<p>質問：①横倉集会所の耐震化関係費用で地元負担がないようにしてほしい。</p> <p>②ごみ集積所について、三箇所のうち一箇所がバス停前で屋根も無く見苦しい。町全体で屋根付きなどの統一した施設として、補助等を考えたかどうか。</p> <p>関連：そのような場所の確保と施設の補助が町でできるのか。すぐ片付ける方法もある。</p> <p>回答：①横倉集会所は避難所に指定されている。町側へ早く実施するように働きかける。</p> <p>②地域の衛生自治会と町が分担協力して処理をしているが、収集場所や施設は自治会なので、まず地域で相談してほしい。ご意見は町へつなぐ。</p>

質問：ふれあいマップ作成に関わって、災害に遭った時に避難施設が大丈夫か心配。施設状況の情報が必要。マップを作っても意味がない。

回答：平成18年度策定の耐震診断実施要綱があるが、進んでいない。避難所対策については、避難内容による見直しを始めているが、いろいろ問題があると思うので改めて町へ伝える。マップは見直しを進めている。

質問：議員定数を16名から14名に2名減らした理由は何か。

回答：ここ数年住民から、人数が多い・報酬が多いという声があることから、人数を2名減とし報酬は10%カットを継続している。

質問：①西部地区農集の接続率がなかなか上がってこない状況にある。

②豊田し尿処理センター後の各市町村独自処理案について、町議会に提案されたのか。

回答：②町議会での協議はない。し尿処理センターの施設組合議会で協議している段階である。

質問：①人口減少、②企業誘致、③産業振興等の対策はどのようなか。

回答：①若者定住対策として家賃補助を実施している。

②③西部地区は、後継者も多い地区。それに引き替え観光産業は厳しい状況にあることは常に認識しているが、なかなか成果につなげていない。

質問：いま市町村合併を考えている議員はいるか。やるべきときにやらなかったが。

回答：現時点で合併を考えている議員はいないと思う。

質問：①町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の内容の説明を。

②山ノ内町上水道施設のあり方で、需要の実際は安定でなく減少していると説明されたが、かん排から950 m^3 /日を生給しているがもう要らないということか。

③北志賀の銘水として水を販売しているが、個人でやっているの町は関係ないことかもしれないが、過去にかん排から北部上水に0.004 m^3 /秒を生給するにあたり大変な経過があり、その地区から水を売るということは、我々かんぱい役員は大変窮地になる。

回答：①これまで法律で定められていたことを条例で定めたもので、特段の変更はない。

②町全体での数値上では間に合っていることになるが、夜間瀬地区では美味しい水を飲むためにかん排の水は必要である。

③小丸山のペンションで30か40年位前からお客さんに提供してきた、共同井戸の水を北志賀観光協会が振興のために販売を始めた。それがなぜかん排さんに悪い影響を与えるのかわからない。逆にかん排さんも売られたらいいのではと思う。

質問：かん排の水源は奥志賀にあり、0.004 m^3 /秒の水を生給するにあたっては当時の町長を始め多くの関係者の努力による重いもので、簡単に考えてもらっては困る。そのようであると、一つひとつを精査していかなければならなくなる。須賀川の受益者の方はそのことをわきまえて発言をしないと、議会・町・受益者の方にも大問題となる。

回答：北部水道は、観光の繁忙期には1500t貯水槽に貯水したかん排さんからの0.004m³/秒の水がなければ断水状態になるので、地域をあげて感謝をしている。また、地域の水検討委員会等の関係者には経過を伝えている。

回答：経過も承知しており、かん排さんには感謝しているが、観光協会で小丸山の水の販売をすることがなぜ問題なのか教えてほしい。

質問者から回答：水は生きていく上で大切なものであり、よく考えて上手に使うということ。

質問：社会体育館が使えず非常に不便である。いつまでも見送られているが、早くなんとかしてほしい。今後はどうなるのか。

回答：町では平成28年度から検討を始める計画であるが、議会はそれに先行して検討委員会を作り計画を立てることを提案している。

現体育館が使えないのは、当初の修繕費用の問題や取り壊すにも費用が1億5千万円円を超える試算もあり、手つかずできて今の状態である。

質問：町でありながら、体育館がないのは寂しい。村のほうが揃っている。

回答：自立のマスタープランとの時間のずれもあり、今の状態のままとなってしまった。観光にも必要であり、議会としても過疎債が使えるうちに早く進めるべきと考えている。

質問：山ノ内中学校の渡り廊下が仮設の状態で見観的にも悪いが修繕はどうなるのか。

回答：町実施計画で平成28年度に設計の計画がされている。

質問：①消防団の活動については懇談会等も実施しているが新入団員の加入がない。町も勧誘に努めてほしい。

②電柱式の火の見やぐらは危険であるが、改良や取り壊しはどうするのか。またその補助金・負担金はどうなのか。

回答：①消防団については、活動や定数の見直しを含めて研究していきたい。

②火の見やぐらは町の施設になるので、町へ西部分団として要望してほしい。費用の負担は原則ない。